

令和5年 1月 9日 (火)

校長 野尻 史子

おはようございます。

新しい年が始まりましたので、今まででしたら みなさんで新年のご挨拶をするところですが、今年は、元旦から、石川県の能登地方で大きな地震があり、たくさんの方が亡くなったり、火事で帰る家をなくしたりした方たちがたくさんいらっしゃいますので、ご挨拶は控えるようにいたします。

そして、こうした地震や洪水など、自然が引き起こす災害は、いつ、どんなときにやってくるか分からないということを、私たちはもう一度心にとめる必要があります。

私たちは能登から離れているので、直接助けることはできないかもしれませんが、5年生は、ちょうど 防災について去年から学んでいますね。生きて役に立つ知識、大切にして、周りに広めてください。どうかそのほかの学年のみなさんも、ニュースや新聞などを通して、災害が起こった地域のみなさんの大変な状況やご苦勞をよく知り、自分だったらどう行動すればいいのだろう、どんな準備をしておけばいいのだろう、と家族や身近な人といっしょに考えてください。

さて、今年は辰年ですね。その辰年の辰とは、漢字ではこのように書きますが、龍とか竜とか書くこともあります。

龍を実際に見た人はいません。なぜなら、空想上の生き物だからです。

昔の人は、大自然が引き起こす雷とか竜巻を龍に見立てて、空気を震わせ、生き物や植物など世の中の物を震わせて勢いづかせる物にとらえたようです。

ウサギ年は穏やかな飛躍の年といわれますが、辰年はもっと力強く勢いよく飛躍する一年になるかもしれません。

今週は、それぞれのクラスで目標を書いたり、係や班長を決めたりして、これからやるべきことを考える時間があるはずです。しっかり考えて、新しい学年に進学、進級する四月までに頑張る目標・めあてを立ててください。みなさんの大きなジャンプ、成長を期待しています。

これでお話をおわります。